## 宣言と代入

```
% 文字式は syms で宣言する
syms x y
% 関数は定義した文字式を使って定義できる
f = x^2 + y
f = x^2 + y
% subs を使って文字に数値を代入できる
subs( f, [x,y], [2,1] )
ans = 5
% 関数 f を具体的には定義せず、x,y に依存することだけ宣言する
syms f(x,y)
% 出力を見るとあたかも f(1,2) によって代入できるように思える
f(x, y) = f(x, y)
% f(1,2) は実はエラーを出さない
f(1,2)
ans = f(1,2)
% しかし、具体的に表現を与えるとエラーがでる
f = x^2 + y
f = x^2 + y
try
   f(1,2)
catch ME
   ME.message
   fprintf('f(1,2)) によっては代入できない。行列アクセスのように挙動する\n')
end
ans =
'添字が範囲外です。'
f(1,2) によっては代入できない。行列アクセスのように挙動する
%1変数の場合も同様にエラーがでる
f = x^2
f = \chi^2
```

```
f(2)
catch ME
   ME.message
   fprintf('f(2) によっては代入できない。行列アクセスのように挙動する\n')
end
ans =
'Index exceeds the number of array elements. Index must not exceed 1.'
f(2) によっては代入できない。行列アクセスのように挙動する
% z を t の関数とする
syms z(t)
% z(t) によって関数 f を定義してみる
% f(2) が計算できるように思える
f = z^2
f(t) = z(t)^2
% 実は f(2)は計算できる
% z(2) のような挙動をする
f(2)
ans = z(2)^2
% 前に宣言した x の関数としても問題ない
syms z(x)
f = z^2
f(x) = z(x)^2
f(3)
ans = z(3)^2
% しかし、直接数値が出るような状況ではエラーが出る
syms f(x)
f = x^2
f = \chi^2
try
   f(3)
catch ME
   ME.message
   fprintf('f(3) によっては代入できない。行列アクセスのように挙動する\n')
end
ans =
'Index exceeds the number of array elements. Index must not exceed 1.'
f(3) によっては代入できない。行列アクセスのように挙動する
```

## 宣言と仮定

```
% theta を角度, r を距離として宣言し、位置ベクトルを横ベクトルで定義する
syms theta r
position = r * [cos(theta), sin(theta)];
% 位置ベクトルの自身との内積を計算する。 r^2 を期待する
% でもそうはならない
position * position'
ans = r\cos(\overline{\theta}) \overline{r}\cos(\theta) + r\sin(\overline{\theta}) \overline{r}\sin(\theta)
% conj(r), conj(theta) は複素数を考慮している
% そこで r, theta を実数だと仮定して計算する
assume( theta, 'real' )
assume( r, 'real' )
position * position'
ans = r^2 \cos(\theta)^2 + r^2 \sin(\theta)^2
% cos(theta)^2 + sin(theta)^2 = 1 は勝手に反映されてほしい
% simplify によって単純化すると反映される
simplify( position * position' )
ans = r^2
% 実は syms の時点で実数だと仮定できる
syms theta r real
position = r * [cos(theta), sin(theta)];
simplify( position * position' )
ans = r^2
% 何かのパラメータである文字には仮定を適用できない
syms theta(t) r(t) real
警告: 仮定を実行できるのは変数名のみで、'theta(t)' には実行できません。
警告: 仮定を実行できるのは変数名のみで、'r(t)' には実行できません。
position = r * [cos(theta), sin(theta)];
simplify( position * position' )
ans(t) = |r(t)|^2 \cos(\overline{\theta(t)} - \theta(t))
% 文字に仮定が設定できないのは微分を考慮する際に面倒になる。
% 詳しくは TODO:replace<微分に関するファイル> を参照
```